

「発達障害」×「新しい生活様式」



発達障害のある方の中には、「新しい生活様式」に不安や戸惑いを感じている方がいます

少しでも周囲の方のご理解があると、新しい生活様式に対応し、安心して過ごすことができます

そこで、発達障害のある方が、この変化に対応し、より過ごしやすい工夫をまとめました

【相談機関】

千葉県発達障害者支援センターCAS

● CAS 千葉(本部)

TEL:043-227-8557

● CAS 東葛飾

TEL:04-7165-2515

※お住まいの市町村によって、相談窓口が異なります。詳しくはHPをご参照ください。



発達障害のある方が過ごしやすい世の中は
だれもが過ごしやすい世の中にもつながります。

皆様のご理解をお願いいたします。

令和2年6月

千葉県発達障害者支援センターCAS

千葉県にお住まいの皆様へ

「発達障害」 × 「新しい生活様式」

—だれもが安心して過ごせるように—

千葉県発達障害者支援センターCAS

発達障害の特性とその対応について

「発達障害」とは

脳のタイプの違いから、ものごとの見え方や考え方が多くの人たちと異なる障害です

生まれつきの障害で、はっきりとした原因はまだわかっていません

見た目ではわかりにくいいため、周囲からの理解を得られにくいことがあります

発達障害には、自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、学習障害(LD)などのタイプがあります

- 発達障害の特性は人それぞれであり個別の対応が大切となります

- お困りごとがございましたら

千葉県発達障害者支援センターまで
ご相談ください

- 具体的で視覚的な情報が得意
- ものごとを「言葉通り」に受け止めやすい

- ✓ あいまいな表現は避け、だれにでもわかる情報を伝えてください
- ✓ 否定形ではなく、肯定的に「どうすればよいのか」を伝えてください

NG!

「十分な距離をとる」



OK!

「2m 離れる」



「空いた時間に」

「14~16時に」



「立ち止まらないで」

「進んでください」

- 感覚の過敏さがある

- ✓ 感覚の過敏さから、マスクをつけることがとても苦手な人がいます
- ✓ 「どうしてもマスクをつけることができない人」がいることをご理解いただき、1人1人ができる感染症予防対策を行いましょ

- 自分の気持ちを伝えることが難しい

- ✓ 困っていても、助けを求めることが難しいことがあります
- ✓ 困っている人がいたら「どうすればよいのか」を具体的に穏やかな口調で伝えてください